

## 2022 年度事業報告

### 1. 事業報告

2022 年度の事業を以下のとおり実施した。

#### (1) 総括

(単位：円)

項目	予算額	実施額	差異
教育用設備備品等の助成	2,250,000	2,195,821	△54,179
講演会等の行事助成	500,000	267,055	△232,945
合計	2,750,000	2,462,876	△287,124

#### (2) 県別内訳

(単位：円)

項目	区分	富山	石川	福井	合計
教育用 設備備品等 の助成	予算額	(3校) 750,000	(3校) 750,000	(3校) 750,000	(9校) 2,250,000
	実施額	(3校) <b>750,000</b>	(3校) <b>698,753</b>	(3校) <b>747,068</b>	(9校) <b>2,195,821</b>
	差異	△0	△51,247	△2,932	△54,179
講演会等の 行事助成	予算額	(北陸3県で10校程度) 500,000			
	実施額	(2校) 55,685	(3校) 161,370	(2校) 50,000	(7校) 267,055
	差異	-	-	-	△232,945
合計	予算額	2,750,000			
	実施額	(5校) 805,685	(6校) 860,123	(5校) 797,068	(16校) 2,462,876
	差異	-	-	-	△287,124

### (3) 実施にあたっての配慮事項

#### a 教育用設備備品等の助成

- ・ 寄贈物品は、各応募校の希望品目より選定した。
- ・ 寄贈対象校の選定にあたっては、各校の希望品目の有用性や貢献度等を勘案した。
- ・ 学校の現有備品の充足度を考慮し、更に過年度寄贈実績や滞留回数についても配慮した。

#### a 講演会等の行事助成

- ・ 開催予定 10 校に対して、計 7 校（富山県 2 校、石川県 3 校、福井県 2 校）より申込みがあり、これらのすべてを採用し助成を行った。

### (4) 附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」はないため附属明細書の記載を省略している。